



よこ やま あつ こ
横山敦子

こうめいとうぎいんだん
公明党議員団

ひとり親家庭の総合的な支援相談窓口強化を

問 ひとり親家庭への支援については、政府が「すべての子どもの安心と希望の実現プロジェクト」の中で、妊娠・出産から就学前までの子育て支援を含め、小学校入学から中学校卒業までの学校をプラットフォームとした寄り添い型支援の強化を取りまとめた。津市における相談支援の現状と強化策は。また、学習支援事業について、教育関係部局との連携の現状は。

答 ひとり親家庭の相談支援は、窓口をこども支援課において、それぞれの相談内容に応じ、担当者が連携し対応している。さらに、専門の相談員として、ひとり親家庭の就業支援を行う母子自立支援プログラム策定員、離婚などについての相談を受ける婦人相談員、子どもの養育に関する相談を受ける家庭児童相談員を配置している。また、平成28年度の児童扶養手当現況届の際、ハローワーク津の就職支援ナビゲーター派遣による直接就業相談を実施したところである。

教育関係部局との連携については、家庭児童相談員が教育に関する相談を、また、教育費に関する相談は、就学援助制度を適切に案内するなど、しっかりと取り組んでいく。

●その他の質疑・質問●

- 産後うつ予防や新生児への虐待予防を図る産婦健康診査の公費助成の早期実現を
- 新生児聴覚検査の公費助成を
- 新年度保育所入園申し込みの現状と課題は
- 保育実施基準表・保育入園申込速報値の公表で見える化を
- 保育コンシェルジュの配置を
- 校務支援システム導入で学校徴収金の活用推進を など



▲入園申し込みには保育実施基準の見える化を



こ ばやし たか とら
小林貴虎

しみん
市民クラブ

未就学児の医療費窓口無料化に対する考えは

問 未就学児の医療費の窓口無料化を望む声は一定数あるが、これを実施することで、医療費が1億4,000万円増加し、津市が一般財源から負担せねばならない。国保分は4,100万円増えることになり、国保料から賄わなければならない。平成28年に値上げをしたが、再度値上げをする必要性も出てくる。津市の未就学児の医療費に対する窓口無料化の考えは。

答 医療費をいたずらに拡大させないことが、持続可能な保険制度として、未来へ渡していく中で、一番大切なことであると考えている。

窓口無料化は自治体間の競争で、先行したものが立派ということではなく、地に足の着いた議論をしっかりとやりながら、いなしたり、避けたりせずに、正面から堂々と検討していけば良いと考えている。

国保制度全体として、適正受診など、医療費の抑制を三重県全体で各市町が一緒になってやっていかなくてはいけないという議論も既に始めており、窓口無料化のメリット・デメリットをよく分析しながら決めていく。

●その他の質疑・質問●

- マイナンバーカードを利用した高齢者のバス料金補助に関して、個人番号の漏えいの心配はないのか
- 小学校の英語教科化に向けての取り組みについて
- 学習指導要領等の改正に向けて、小中学校における領土の取り扱い、幼稚園や保育園における国旗および国歌の取り扱いについて など



▲小学校における英語授業風景